# この企画展は終了いたしました。ご来場ありがとうございました。

平成28年度 冬季企画展

## アジア医療の光となった医師



開催 2016年 **7 2**月 **3**日(土)~ 期間 2017年 **3**月 **2**日(日)

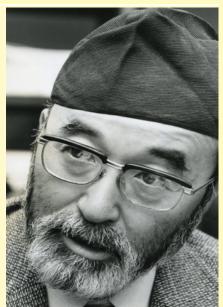
会場 3階・企画展示室

入場無料

昭和34年8月、公衆衛生医・岩村昇は、初めて日本キリスト教医科連盟の総会に出席し、通常の学会にはない不可解な力を感じて大きな感銘を受けました。そして、会の最後に日野原重明が放った「ネパールでの医療奉仕に、特に公衆衛生医が求められている」という言葉が、岩村の心を貫きました。当時、ネパールは鎖国を解いたばかりの未知の国で、日本では見られなくなった伝染病が猛威を振う国でした。

昭和37年1月、岩村昇はネパールへと旅立ち、以来、18年にわたりネパールの医療活動に従事しました。原爆症の悪化で帰国を余儀なくされましたが、それまでの経験から途上国では、指導者の育成が不可欠であると痛感し、その後は地域指導者の育成に力を尽くしました。

本展では、開国当初のネパールをはじめ、アジア諸国の医療活動に献身し、地域指導者の育成に尽力した、宇和島出身の医師・岩村昇の偉業とその人物像を、関係資料とともに紹介します。



#### 【開催期間】2016年12月3日(土)~2017年3月12日(日)

【 会 場 】愛媛県生涯学習センター内

愛媛人物博物館 3階 企画展示室

【開館時間】午前9時~午後5時30分(入館は午後5時まで)

※12月3日(土)のみ午前10時30分開館

【休館日】月曜日(祝日及び振替休日に当たる場合はその翌日)

年末年始(12月29日~1月3日)

## 入場無料

# 展示説明会

無料

●日時 平成28年12月3日(土)、12月25日(日) 平成29年1月15日(日)、2月12日(日)、3月12日(日) 各回とも 10時30分~11時30分 及び 14時~15時の2回

●場所 愛媛人物博物館 3階·企画展示室

#### 〈開展式〉







 $\frac{\mathbb{P}_{0}}{28}$ 年12月3日(土) $\sim^{\mathbb{P}_{0}}_{29}$ 年3月12日(日) 〈開催期間〉

〈休館日〉月曜日 ※月曜日(祝日及び振替休日に当たる場合はその翌日) 年末年始(12月29日~1月3日)

場〉愛媛県生涯学習センター内 会

愛媛人物博物館 3階·企画展示室

〈開館時間〉午前9時~午後5時30分 ※12月3日(土)のみ10時30分開館 ※1時初度への入館は午後5時まで

平成28年 11月26日(土)·27日(日)

えひめ生涯学習「夢まつり」内 ひめぎんホール

■主催/愛媛県生涯学習センター・愛媛県教育委員会 ■後 援/宇和島市、宇和島市教育委員会、愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、 愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛



■バスご利用の方は…

●伊予鉄バスの場合 ○砥部方面行き→下原町バス停にて下車(徒歩約15分)

○丹波方面行き(森松バス停乗車)→県生涯学習センター前バス停にて下車

・ 駐車場 案内板

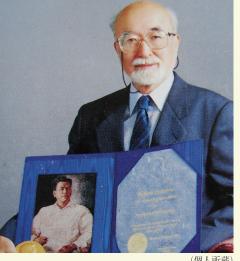
えひめ青り ®

愛媛県総合 教育センター

P

●JRバスの場合

○久万高原町・落出方面行き→下原町バス停にて下車(徒歩約15分)



#### 昭和34年8月、公衆衛生医・岩村昇は、初めて日本キリスト教医科連盟の総会に出席 し、通常の学会にはない不可解な力を感じて大きな感銘を受けました。そして、会の最 後に日野原重明が放った「ネパールでの医療奉仕に、特に公衆衛生医が求められてい る」という言葉が、岩村の心を貫きました。当時、ネパールは鎖国を解いたばかりの未 知の国で、日本では見られなくなった伝染病が猛威を振う国でした。

昭和37年1月、岩村昇はネパールへと旅立ち、以来、18年にわたりネパールの医療活 動に従事しました。原爆症の悪化で帰国を余儀なくされましたが、それまでの経験から 途上国では、指導者の育成が不可欠であると痛感し、その後は地域指導者の育成に力を 尽くしました。

本展では、開国当初のネパールをはじめ、アジア諸国の医療活動に献身し、地域指導 者の育成に尽力した、宇和島出身の医師・岩村昇の偉業とその人物像を、関係資料とと もに紹介します。

### 原点【「善きサマリア人」の話

岩村は、小学生の頃、敬虔なクリスチャン であった母と通った日曜学校で、医師・岩 村昇の原点となる体験をする。一人の中学 生が「善きサマリア人」の聖書物語を朗読し た後「僕は病弱で進学できないが、皆さん の中で一人でもいい、貧しく病める人を救っ てくれる人が出てほしい」と訴え、岩村少年 はその言葉に心を打たれた。



(岩村昇著『あなたの心の光をください』より)

#### 転機▮被爆から医学の道へ



(個人所蔵)

岩村は、父の経営する油脂工場を継ぐ べく広島高等工業学校に特待生として入 学する。2年生の夏、人類初の核兵器・原 子爆弾の被害を受け、2日間の意識不明 から奇跡的に助かった。この壮絶な経験 から、岩村は「人の命を救う医学の道」を 決意する。

#### 前進▮ 医師への道

2年間の療養の後、岩村は旧制松山高 等学校へ編入学した。山岳部、演劇部、 聖書サークルと多感な高校時代を謳歌 し、昭和25年、米子医科大学(現、鳥取 大学医学部)へと進んだ。公衆衛生学を 専攻し、卒業後も大学に残り、研究者の 道を歩んでいた。



(個人所蔵)

### 飛翔▮ネパールにおける医療活動

昭和34年8月、岩村は初めて日本キリス ト教医科連盟の総会に出席し、会の最後 に日野原重明が放った「ネパールでの医 療奉仕に、特に公衆衛生医が求められて いる」という言葉に心を貫らぬかれた。昭 和37年1月、岩村はネパールへと旅立った。 以来、18年にわたりネパールでの医療活動 に従事した。



(個人所蔵)





(日本キリスト教海外医療協力会所蔵)

## 継承┃地域指導者の育成

岩村は、ネパールでの体験から、途上 国で最も必要なものは人材であると痛感 していた。昭和56年、平和と健康づくりを 担う人材育成を目的としたPHD協会を 設立し、アジア・南太平洋地域を舞台に 地域指導者の育成に邁進した。



(PHD協会所蔵)

# 展示説明会

●日時 平成28年12月3日(土)、12月25日(H) 平成29年1月15日(日)、2月12日(日)、3月12日(日) 各回とも 10時30分~11時30分 及び 14時~15時の2回

●場所 愛媛人物博物館 3階・企画展示室

#### 冬季企画展 「岩村 昇」 関連事業



【略歴】 早坂 暁(はやさか あきら)

作家·脚本家。1929年愛媛県松山市(旧北条 市)生まれ。代表作はNHKドラマ「天下御免」 「夢千代日記」「花へんろ」、小説「ダウンタウン・ ヒーローズ」「華日記」「戦艦大和日記」など。 新田次郎文学賞・講談社エッセイ賞・向 田邦子賞・芸術選奨文部大臣賞、放送文 化賞、紫綬褒章など。

旧制松山高等学校出身。(岩村昇氏とは 同級生)

# ■「世界の屋根のひげドクター」



愛媛県生涯学習センター内 県民小劇場

#### 入場無料 整理券が必要

# 講師の都合により中止

\*定員になり次第終了いたしますので、お早めにお申し込みください \*入場整理券は12月3日(土)より、愛媛人物博物館3階企画展示室受付で配布いたします。



指定管理者 / (株)レスパスコーポレーション 松山市上野町甲650番地 TEL 089-963-2111 FAX 089-963-4526 URL http://www.i-manabi.jp/